

日本語教師養成機関スマイル



日本語教師養成機関スマイルは、社会のグローバル化に伴う日本企業のアジア進出や、日本への留学生および技能実習生等の日本語学習者の日本語の活用場面の今後の需要を見込み、国内外の日本語教育機関における即戦力となる人材の育成を目的として、設立されました。

文化庁受理番号：H28122438001

コースの概要について

講座名 : 日本語教師養成480時間講座 土曜日終日コース

日程 : 毎週土曜日 9:00~18:00

1時限	9:00~10:30
2時限	10:40~12:10
昼休み	12:10~13:10
3時限	13:10~14:40
4時限	14:50~16:20
5時限	16:30~18:00

1時限で2単位時間分の授業を行います。
1単位時間は45分です。
講座名の480時間は、
480単位時間のことです。

使用教材 : NAFL 日本語教師養成プログラム

科目 : 日本語教育の現状、日本語教授法、日本人の言語行動、言語学の基礎、第二言語習得論、日本語の音声、異文化理解と心理、日本語の文法、日本語史・日本語教育史、日本語の文字表記、日本語の語彙・意味、社会言語学、日本語の話しことば、対照言語学、日本語教育実習、聞き方・読み方の教育、世界と日本、話し方・書き方の教育、異文化間教育とコミュニケーション教育、日本語教育評価法、視聴覚メディアと日本語教育

修了要件 : 以下の(1)、(2)、(3)のすべてを満たすこと。

- (1) 出席単位時間数が420単位時間以上であること。
- (2) すべての科目において、出席単位時間数が科目に設定された単位時間数の8割以上であること。
ただし、8割に満たない場合は、出席単位時間数に補講単位時間数を加算して8割以上であること。
- (3) 教育実習をのぞくすべての科目の筆記試験で、25点満点中15点以上の点数を得ていること。
- (4) ルーブリック評価シートの全項目において、3以上(最高が5)の成績を得ていること。

※ルーブリック評価シートについては別紙参照

資格について : **本講座を修了するだけでは、告示校(法務省で認可された日本語学校)で日本語教師として教えることはできません。** 告示校で教えるためには、本講座修了に加え、学士の資格が必要です。
学士の資格がない方は、日本語教育能力検定に合格しなければなりません。

教育実習について

当養成機関では、教育実習を段階的に指導します。先ずテキストを使って概論を学びます。次に教案の作成の仕方を学んだり、日本語学校の実際の授業を見学したりして、少しずつ授業のイメージをもってもらいます。教育実習の前段階として、受講者の中から先生役と生徒役に分かれて、模擬授業を行います。模擬授業は一人2回以上、1回最大45分（※1）で行います。模擬授業後に講師からのアドバイスはもちろん、生徒役の受講生からも意見を言ってもらいます。他の受講生の授業を客観的に見ながら自分の授業と比較することで、自分だけでは思いつかなかったアイデアをたくさん得ることができるでしょう。

そしてこれまでの学習の集大成として教育実習を行います。養成講座の教室は平日は日本語教育機関ウグイスの授業で使われています。そのため、実習は受講生と留学生の両方にとって慣れた環境で行えるので、場所が変わって緊張するということはありません。実習も模擬授業と同じく、一人2回以上、1回最大45分（※1）で行います。



教育実習での経験は実際の現場でもとても役に立つので、終了後に必ず振り返りを行います。また5人の講師がアドバイスをするため、異なった視点での発見を多く得られるでしょう。

実習は多くの準備が必要なため、負担も大きいですが、ただこなすだけではなく、実習の直前まで何度もシミュレーションを重ね、自ら手直しを行って臨んで欲しいと思います。ここで苦労したことは必ずあなたの教師生活の助けとなるでしょう。

また、上手に教えることも大事ですが、留学生と触れ合えるチャンスでもあるので、彼らの感性や彼らとのコミュニケーションのおもしろさも感じてもらいたいと思います。

※1 受講生の数によって増減します。25人の場合は1回20分、15人の場合は40分程度になります。

費用について

項目	料金
授業料	350000円(税別)
教材費	100000円(税別)
教育実習に係る教材費 (※2)	5600円(税別)

※2 すでにお持ちの場合、またはご自身でご用意できる場合は徴収致しません。

補講・再試験 1年目 (※3)

項目	料金
再試験(1科目)	無料
補講(4単位時間)	5000円(税別)

※3 出席単位時間数や試験結果が修了要件を満たさない場合は、補講や再試験を受けなければなりません。補講や再試験は原則日曜日に行いますが、担当講師と相談して日程を決めます。

再受講・再試験 2年目 (※4)

項目	料金
再試験(1科目)	無料
16単位時間の科目の再受講(1科目)	無料
32単位時間の科目の再受講(1科目)	無料
教育実習の実技のみ(実習と振り返りの8単位時間)の再受講	無料
教育実習の再受講	無料

※4 補講や再試験を受けても修了要件を満たさなかった場合は、2年目に該当する科目の再受講または再試験を受けなければなりません。再受講は年間スケジュールを確認してください。

項目	料金
再試験(1科目)	3000円(税別)
16単位時間の科目の再受講(1科目)	15000円(税別)
32単位時間の科目の再受講(1科目)	30000円(税別)
教育実習の実技のみ(実習と振り返りの8単位時間)の再受講	10000円(税別)
教育実習の再受講	50000円(税別)

※5 2年目に再受講や再試験を受けても修了要件を満たさなかった場合は、3年目に再受講または再試験を受けなければなりません。最大受講期間が3年のため、3年目に修了できなかった場合はすべての科目の履修が無効になります。

お問い合わせ

住所：〒754-1277
 山口県山口市阿知須102-7 2F



国道190号線沿
 宇部線・岩倉駅から徒歩10

TEL : 0836 - 39 - 7211
 Mail : y-kojima@taiki-group.net

